



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス

コード番号 3055 URL <http://www.hokutake.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 眞鍋 雅昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営管理統括本部副本部長 (氏名) 巖 友弘

TEL 011-633-1030

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	49,371	1.4	△52	—	213	△50.8	73	△64.9
23年3月期第1四半期	48,675	1.4	223	△18.7	434	△12.2	210	△32.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 56百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △62百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	2.94	—
23年3月期第1四半期	8.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	102,814	37,604	36.6	1,497.23
23年3月期	103,492	37,698	36.4	1,500.97

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 37,604百万円 23年3月期 37,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	100,000	1.4	700	△4.0	900	△13.9	400	△47.5	15.93
通期	200,000	0.9	1,500	44.3	2,000	18.4	900	9.1	35.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	25,976,221 株	23年3月期	25,976,221 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	859,983 株	23年3月期	859,886 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	25,116,291 株	23年3月期1Q	25,146,413 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響による企業活動の停滞や消費自粛ムード、さらに原発事故による風評被害なども加わり急速に落ち込みました。また、電力不足や海外需要減退に対する懸念から景気の先行きには依然として不透明感が漂っております。

当社グループでは、「ホールディングスはひとつ」を合言葉に、各事業の強化に加え、事業間連携による新たなサービス・機能の開発、グループ全体での効率性の向上を目指した取り組みを行うことで、地域におけるワンストップサービスを提供できる総合ヘルスケア企業グループの実現を目指してまいりました。また、昨年の当社本社ビルへの全グループ会社の本社機能集約以降、医薬品事業と医療機器事業を中心としたグループ各社連携による顧客支援機能の強化をはじめ、グループ管理業務の再構築、企業間・社員間のコミュニケーションレベルの一層の向上を図っております。また、7月からは、株式会社ほくやくにメディカル営業本部を新設し、検査試薬や在宅医療部門の強化にも着手してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、医薬品事業の収益力回復が第2四半期以降にずれ込む見通しとなり、売上高493億71百万円（前年同期比1.4%増）、営業損失52百万円（前年は営業利益2億23百万円）、経常利益2億13百万円（前年同期比50.8%減）となり、四半期純利益につきましては73百万円（前年同期比64.9%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

(医薬品事業)

医薬品事業におきましては、平成22年の薬価改定の影響や卸間競争の一層の激化により依然として厳しい市場環境が続いております。また、東日本大震災後の影響により供給不安が生じておりましたが、一部の医薬品の安定供給が秋口頃まで時間を要することを除いて、徐々に回復傾向にあります。このような中、新製品や需要が拡大する生活習慣病用薬の販売を積極的に展開することにより、売上高は安定的に推移いたしました。しかしながら、利益面におきましては、新薬価制度の導入により個々の医療用医薬品の価値に見合った価格交渉を行ってまいりましたが、これまでのところ大きな成果を上げるには至っておりません。その結果、売上高は391億32百万円（前年同期比1.4%増）、営業損失2億92百万円（前年は営業利益1億82百万円）となりました。

(医療機器事業)

医療機器事業におきましては、売上面では、医療材料などの消耗品は前年度と比較してほぼ横ばいとなったものの、画像診断機器をはじめ眼科製品・麻酔関連機器など大型機器の買い替え需要により機器・備品の受注件数が堅調に推移いたしました。また、利益面では、昨年4月の診療報酬改定に伴う医療材料の償還価格の引下げや市場競争の激化による納入価格の低下傾向は続いておりますが、拡販政策による販売割戻金の獲得やコスト削減効果により増益となりました。その結果、売上高は91億38百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は72百万円（前年同期比150.9%増）となりました。

(調剤事業)

調剤事業におきましては、長期処方などにより処方箋枚数が減少傾向にある中、当社グループでは、新規店舗における伸長と一部店舗の患者様の増加による処方箋枚数の伸びが売上に寄与しました。また、コスト削減努力により販管費を圧縮し、利益の改善をいたしました。その結果、売上高は20億63百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は81百万円（前年は営業損失0百万円）となりました。

(介護事業)

介護事業では、高齢化の進展により市場ニーズが高度に多様化する中、特に福祉用具レンタル・販売および住宅改修におきまして、品揃えや福祉用具導入後のフォロー（モニタリングなど）の充実、および営業員の増員・育成による提案力の強化を図り、売上は堅調に推移いたしました。また、特に福祉用具レンタル主力品の契約件数増加と仕入および在庫管理の徹底が利益面で大きく寄与しました。その結果、売上高は3億88百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は46百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の増加、たな卸資産の減少および仕入債務の減少により、当第1四半期連結累計期間末には、175億71百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2億36百万円（前年同期比91.6%減）となりました。これは主に、税金等調整前当第1四半期純利益が2億4百万円（同47.9%減）、たな卸資産の減少16億30百万円（同949.4%増）、未収入金の減少額2億22百万円（同76.9%減）、売上債権の増加11億51百万円（同44.9%増）および仕入債務の減少10億70百万円（前年同期は増加28億34百万円）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は4百万円（前年同期は使用した資金4億56百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の売却95百万円（同441.3%増）、有形固定資産の取得21百万円（前年同期比94.0%減）、無形固定資産の取得60百万円（同30.6%減）および投資有価証券の取得11百万円（同0.2%増）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億61百万円（前年同期比11.0%減）となりました。これは主に、配当金の支払1億33百万円（同5.6%減）およびリース債務の返済28百万円（同28.9%減）によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月19日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,632	17,711
受取手形及び売掛金	43,720	44,953
商品及び製品	13,340	11,709
繰延税金資産	453	613
その他	5,170	4,974
貸倒引当金	△25	△24
流動資産合計	80,292	79,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,168	6,059
土地	6,667	6,661
その他（純額）	424	399
有形固定資産合計	13,259	13,120
無形固定資産		
のれん	152	122
ソフトウェア	1,126	1,048
その他	134	107
無形固定資産合計	1,413	1,278
投資その他の資産		
投資有価証券	6,979	6,984
長期売掛金	676	611
破産更生債権等	57	57
長期貸付金	203	188
繰延税金資産	108	106
その他	951	954
貸倒引当金	△451	△425
投資その他の資産合計	8,524	8,477
固定資産合計	23,198	22,876
繰延資産	1	0
資産合計	103,492	102,814

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	62,247	61,177
未払法人税等	149	271
賞与引当金	675	1,000
役員賞与引当金	57	24
返品調整引当金	45	41
その他	940	1,042
流動負債合計	64,116	63,556
固定負債		
繰延税金負債	442	457
再評価に係る繰延税金負債	165	162
退職給付引当金	245	251
長期未払金	579	548
資産除去債務	202	203
その他	41	28
固定負債合計	1,676	1,653
負債合計	65,793	65,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	12,756	12,756
利益剰余金	24,733	24,660
自己株式	△425	△425
株主資本合計	38,064	37,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	833	816
土地再評価差額金	△1,198	△1,202
その他の包括利益累計額合計	△365	△386
純資産合計	37,698	37,604
負債純資産合計	103,492	102,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	48,675	49,371
売上原価	45,002	46,088
売上総利益	3,673	3,282
販売費及び一般管理費		
荷造費	181	185
給料	1,522	1,418
役員賞与引当金繰入額	24	23
賞与引当金繰入額	349	342
退職給付費用	93	90
法定福利及び厚生費	259	270
賃借料	66	66
その他	952	939
販売費及び一般管理費合計	3,449	3,335
営業利益又は営業損失(△)	223	△52
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	81	88
受取事務手数料	98	100
不動産賃貸料	17	13
持分法による投資利益	13	14
貸倒引当金戻入額	—	27
その他	45	65
営業外収益合計	260	311
営業外費用		
支払利息	0	—
不動産賃貸原価	16	19
遊休資産諸費用	29	14
その他	3	10
営業外費用合計	49	44
経常利益	434	213
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	20	—
その他	0	—
特別利益合計	20	0

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
特別損失		
固定資産売却損	19	6
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
その他	5	0
特別損失合計	62	9
税金等調整前四半期純利益	392	204
法人税、住民税及び事業税	901	273
法人税等調整額	△718	△142
法人税等合計	182	130
少数株主損益調整前四半期純利益	210	73
四半期純利益	210	73

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	210	73
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△272	△17
その他の包括利益合計	△272	△17
四半期包括利益	△62	56
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62	56
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	392	204
減価償却費	252	264
繰延資産償却額	0	0
減損損失	—	3
のれん償却額	29	29
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	△26
受取利息及び受取配当金	△85	△91
支払利息	0	—
持分法による投資損益 (△は益)	△13	△14
固定資産売却損益 (△は益)	19	6
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
会員権評価損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△794	△1,151
たな卸資産の増減額 (△は増加)	155	1,630
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,834	△1,070
未払消費税等の増減額 (△は減少)	114	132
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△0	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	225	324
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△79	△33
未収入金の増減額 (△は増加)	963	222
預り金の増減額 (△は減少)	86	37
その他	△359	△172
小計	3,718	301
利息及び配当金の受取額	85	91
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△983	△156
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,820	236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△359	△21
有形固定資産の売却による収入	17	95
無形固定資産の取得による支出	△86	△60
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
投資有価証券の売却による収入	—	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△18	—
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△456	4

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	—
単元未満株式の売買による収入及び支出	△0	△0
配当金の支払額	△141	△133
リース債務の返済による支出	△39	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181	△161
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,182	78
現金及び現金同等物の期首残高	15,141	17,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,324	17,571

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)
	医薬品事業 (百万円)	医療機器事業 (百万円)	調剤事業 (百万円)	介護事業 (百万円)	その他 (百万円)	
売上高						
外部顧客への売上高	37,171	8,820	1,920	363	400	48,675
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,438	94	3	2	573	2,111
計	38,609	8,915	1,923	365	973	50,787
セグメント利益又は損失 (△)	182	28	△0	38	132	382

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	382
セグメント間取引消去	△111
のれんの償却額	△28
たな卸資産の調整額	△18
四半期連結損益計算書の営業利益	223

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)
	医薬品事業 (百万円)	医療機器事業 (百万円)	調剤事業 (百万円)	介護事業 (百万円)	その他 (百万円)	
売上高						
外部顧客への売上高	37,672	9,050	2,057	386	203	49,371
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,459	87	6	2	586	2,141
計	39,132	9,138	2,063	388	789	51,512
セグメント利益又は損失 (△)	△292	72	81	46	200	108

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

損失	金額(百万円)
報告セグメント計	108
セグメント間取引消去	△115
のれんの償却額	△29
たな卸資産の調整額	△16
四半期連結損益計算書の営業損失	△52

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において減損損失を計上しておりますが、金額が軽微なため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。